

JIS A 6909 建築用仕上塗材  
可とう形改修塗材E 認証取得製品  
(水性ソフトサーフSG)

ホルムアルデヒド 放散等級  
F☆☆☆☆

塗り替えに朗報、水性から溶剤形まで各種上塗材に適合

幅広い下地適用性を持つ理想的な一液水性微弾性サーフェーサー！

# 水性ソフトサーフSG

Super Grade!

各種機能性塗料との組み合わせにより、塗り替え工法を一新

オール水性・高耐候型塗装システム

水性反応硬化型塗料

超低汚染型塗装システム

セラミック複合型塗料

多機能型単層弾性塗装システム

工期短縮型多機能単層弾性塗材

壁面防水型塗装システム

高弾性壁面防水型塗材

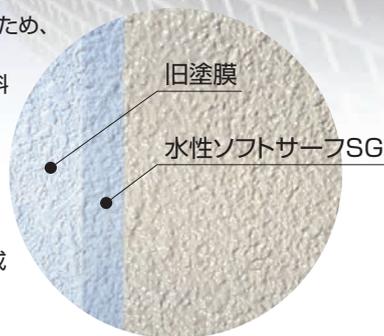
一液水性微弾性サーフェーサー

# 水性ソフトサーフSG

水性ソフトサーフSGは、微弾性ポリマーをベースに官能性の高い極性高分子を導入するという新しいアロイ化技術の応用で開発された改修用塗材です。多種多様な旧塗膜と強固に密着し、さらに各種水性・溶剤形仕上塗材に対しても優れた付着性を発揮します。この他、「フィラー機能」「シーラー機能」「中塗り機能」を兼ね備えており、多目的型の理想的な一液サーフェーサーとして大幅な工期短縮に、また、改装工法の簡略化に大きく貢献します。

## 特長

- 幅広い付着適応性** 極性高分子が水性、溶剤形を問わず各種旧塗膜や、各種仕上塗材と強固に付着するため、多目的な改装工法にご使用いただけます。
- 工期短縮** 従来の改装工法で必要とされる三工程（フィラー、シーラー、中塗り）を一つの材料に簡略化することに成功しました。機能性複合型塗膜で工期の短縮を図ることができます。  
※ コンクリート露出面、無塗装面には適切な下塗材が必要です。
- ひび割れ追従性** 微弾性があるため、旧塗膜に発生している微細なひび割れ、巣穴などをカバーできます。
- 豊富な仕上げ** 既存テクスチャーを生かす仕上げや、所要量を増やして新しいテクスチャーを形成する仕上げを選択できます。
- 塗装作業性** 臭気が気にならず、良好なローラー、エアレス吹付作業適性を示します。



## 推奨する上塗材の種類

\*印の製品は、JIS A 6909 可とう形改修塗材 E の上塗材です（艶有りが対象）。耐候形の区分や、その他の上塗材については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

### ■超低汚染型塗装システム（水性）

- \*水性セラタイトF（超低汚染型ふっ素樹脂塗料）※1 ※2
- スーパーセラタイトF（超低汚染型一液無機複合ふっ素樹脂塗料）※1
- \*水性セラタイトSi（超低汚染型アクリルシリコン樹脂塗料）※2
- 水性クリーンタイトSi（超低汚染型一液アクリルシリコン樹脂塗料）
- \*水性弾性セラタイトF（超低汚染型弾性ふっ素樹脂塗料）※1 ※2
- \*水性弾性セラタイトSi（超低汚染型弾性アクリルシリコン樹脂塗料）※2

### ■超低汚染型塗装システム（弱溶剤形）

- \*クリーンマイルドフッソ（超低汚染弱溶剤形ふっ素樹脂塗料）
- \*クリーンマイルドシリコン（超低汚染NAD型特殊アクリルシリコン樹脂塗料）
- \*クリーンマイルドウレタン（超低汚染NAD型特殊ポリウレタン樹脂塗料）
- \*弾性クリーンマイルドフッソ（超低汚染弱溶剤形弾性ふっ素樹脂塗料）
- \*弾性クリーンマイルドシリコン（超低汚染NAD型特殊弾性アクリルシリコン樹脂塗料）
- \*弾性クリーンマイルドウレタン（超低汚染NAD型特殊弾性ポリウレタン樹脂塗料）

※1. 専用の中塗材が必要です。

※2. 水性セラタイトF/Si、水性弾性セラタイトF/Siの硬化剤は溶剤形となります。

### ■オール水性塗装システム

- \*水性セラミシリコン（低汚染型一液水性セラミックシリコン樹脂塗料）
- \*エスケープレミアムシリコン（低汚染型一液水性ハイブリッドシリコン樹脂塗料）
- \*水性コンポウレタン（水性反応硬化形ポリウレタン樹脂塗料）
- \*フリーズコート（水性アクリル樹脂塗料）
- \*水性弾性セラミシリコン（低汚染型一液水性弾性セラミックシリコン樹脂塗料）
- エスケープ弾性レミアムシリコン（低汚染型一液水性弾性ハイブリッドシリコン樹脂塗料）
- \*水性弾性コンポウレタン（水性反応硬化形弾性ポリウレタン樹脂塗料）
- \*SK水性ELコート（水性弾性アクリル樹脂塗料）

### ■多機能型単層弾性塗装システム

- セラミクリーン/セラミクリーンタイル
- （高耐久・低汚染型水性セラミックシリコン樹脂系単層弾性塗材）
- ニュートップレスクリーン/ニュートップレスクリーンタイル（多機能型単層弾性塗材）

### ■壁面防水型塗装システム

- レナフレンド（アクリルゴム系防水形複層塗材）

## 性能試験成績表

JIS A 6909 建築用仕上塗材 可とう形改修塗材 E による物性結果

試験項目	結果	規定
低温安定性	合格	塊がなく組成物の分離・凝集がない。
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合格	ひび割れない。
付着強さ	標準状態 N/mm <sup>2</sup>	1.0 0.7以上
	浸水後 N/mm <sup>2</sup>	0.9 0.5以上
温冷繰返し	合格	試験体の表面に、ひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がない。
透水性B法(ml)	0.1	0.5以下
耐衝撃性	合格	ひび割れ、剥がれ及び著しい変形がない。
ひび割れ充填性	合格	基板の溝の部分に、塗膜のひび割れ及び穴がない。
耐候性A法	合格	ひび割れ及び剥がれがなく、変色の程度はグレースケール3号以上とする。
可とう性	合格	ひび割れない。

## 適用可能な上塗材の種類

上記に記載した推奨する上塗材の他、以下のような上塗材が適用可能です。

水性塗料	吹付け	厚付塗材	※2 石材調塗材	※1 溶剤形塗料	※1 吹付け	※1 リスシキ	
水性エコファイン バイオファイン フリーズファイン 水性コンポアクリル 水性コンボシリコン 水性弾性コンボシリコン	レナクイック レナタイル レナラック	セラミソフトスタック ソフトスタック ベルアート ベルアート Si 弾性ベルアート	エレガニスタイル TS エレガニストーン グラニースタック グラニースタイル セラミスマイル	一液マイルドウレタン 一液マイルドシリコン セラミタウンマイルド ※3 ナックベース ※3	セラタイトF ※1 セラタイト Si ※1 セラタイト U ※1 フッソロンエナメル リリカタイトエナメル ※1 ウレタンカラー SK アクリルカラー 弾性セラタイトF ※1 弾性セラタイト U ※1 弾性フッソロンエナメル ※1 弾性リリカタイトエナメル ※1 弾性ウレタンカラー 弾性カラーエナメル	シボロール シボロール M ソフトロール レナクイックローラー用 レナロール	セラスカケン セラミソフトリシン ソフトリシン

※1. 専用の中塗材が必要です。  
 ※2. 石材調塗材の場合、目地工法はできません。  
 ※3. 艶消しは適用不可です。  
 ※4. この他、条件によっては使用できる材料もありますので、詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

標準施工仕様

## (1) 水性上塗材を使用する場合

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			
					工程内	工程間	最終養生	
1	下 地 調 整	・旧塗膜に脆弱部のある場合は、サンダー及び皮スキ・ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000などで段差修正後、パターンの復元を行ってください。なお、下地調整塗材（ミラクファンドKC-1000、ミラクファンドKC-2000、ミラクファンドKC-3000など）を用いる場合は、下地調整後、水性ミラクシーラーエコなどの下塗材を塗付してください。 ・高圧水洗(5~15MPa=50~150kgf/cm <sup>2</sup> )にて旧塗膜に付着している塵、ほこり汚れなどを除去してください。						
2	下 塗 り	水 性 ソ フ ト サ ー フ S G	100	0.30~1.5	1~2	3以上	*1 3以上	-
		清 水	2~8	-				

\* 1) 厚付け仕上げの場合（所要量が0.8~1.5）、工程間隔時間は6時間以上となります。

\* 2) 所要量、塗回数は用途及び塗装器具により異なります。詳しくは下記の表をご参照ください。

### 〈塗装器具別の塗装方法〉

用 途	塗 装 器 具	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	水希釈率 (重量比 (%))
既存塗膜のパターンを生かす (薄付け仕上げ)	ウールローラー (W-2 (中毛) ローラー)	0.30~0.6	1~2	5~8
	マスチックローラー細目 (SPローラー)	0.5~0.8	1	5~8
	刷 毛	0.30~0.8	1~2	5~8
	エアレススプレーガン	0.30~1.0	1	5~8
	リ シ ン ガ ン	0.5~1.0	1	5~8
既存塗膜のパターンを消し、 ローラー模様を付ける (厚付け仕上げ)	マスチックローラー (M-9ローラー)	0.8~1.5	1~2	2~5

注 1) 既存パターンや下地の状態により、所要量が異なる場合があります。

注 2) 水性ソフトサーフSGは改修用の塗材です。新規 ALC パネルの下地調整材として使用する場合、所要量は 0.5kg/m<sup>2</sup> 以上とし、必ずしごき塗りを行ってください。なお、マスチックローラー (M-9ローラー) による塗装はできません。

## (2) 弱溶剤形上塗材を使用する場合

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			
					工程内	工程間	最終養生	
1	下 地 調 整	・旧塗膜に脆弱部のある場合は、サンダー及び皮スキ・ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000などで段差修正後、パターンの復元を行ってください。なお、下地調整塗材（ミラクファンドKC-1000、ミラクファンドKC-2000、ミラクファンドKC-3000など）を用いる場合は、下地調整後、★マイルドシーラーEPOなどの下塗材を塗付してください。 ・高圧水洗(5~15MPa=50~150kgf/cm <sup>2</sup> )にて旧塗膜に付着している塵、ほこり汚れなどを除去してください。						
2	下 塗 り	水 性 ソ フ ト サ ー フ S G	100	0.30~1.5	1~2	3以上	16以上	-
		清 水	2~8	-				

\* 1) 所要量、塗回数は用途及び塗装器具により異なります。詳しくは下記の表をご参照ください。

### 〈塗装器具別の塗装方法〉

用 途	塗 装 器 具	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	水希釈率 (重量比 (%))
既存塗膜のパターンを生かす (薄付け仕上げ)	ウールローラー (W-2 (中毛) ローラー)	0.30~0.6	1~2	5~8
	マスチックローラー細目 (SPローラー)	0.5~0.8	1	5~8
	刷 毛	0.30~0.8	1~2	5~8
	エアレススプレーガン	0.30~1.0	1	5~8
	リ シ ン ガ ン	0.5~1.0	1	5~8
既存塗膜のパターンを消し、 ローラー模様を付ける (厚付け仕上げ)	マスチックローラー (M-9ローラー)	0.8~1.5	1~2	2~5

注 1) 既存パターンや下地の状態により、所要量が異なる場合があります。

注 2) 水性ソフトサーフSGは改修用の塗材です。新規 ALC パネルの下地調整材として使用する場合、所要量は 0.5kg/m<sup>2</sup> 以上とし、必ずしごき塗りを行ってください。なお、マスチックローラー (M-9ローラー) による塗装はできません。

## (3) 溶剤形上塗材を使用する場合

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			
					工程内	工程間	最終養生	
1	下地調整							
					・旧塗膜に脆弱部のある場合は、サンダー及び皮スキ・ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000などで段差修正後、パターンを復元を行ってください。なお、下地調整塗材(ミラクファンドKC-1000、ミラクファンドKC-2000、ミラクファンドKC-3000など)を用いる場合は、下地調整後、★SK#1000プライマーなどの下塗材を塗付してください。 ・高圧水洗(5~15MPa=50~150kgf/cm <sup>2</sup> )にて旧塗膜に付着している塵、ほこり汚れなどを除去してください。			
2	下塗り	水性ソフトサーフSG 清 水	100 2~8	0.5~1.5 -	1~2	3以上	16以上	-

- \* 1) 所定の所要量を塗付せず、上塗りに溶剤形塗料を使用すると、旧塗膜にリフティングを生じることがありますので、所定の所要量を厳守してください。  
\* 2) 所要量、塗回数は用途及び塗装器具により異なります。詳しくは下記の表をご参照ください。

## 〈塗装器具別の塗装方法〉

用 途	塗 装 器 具	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	水希釈率 (重量比 (%))
既存塗膜のパターンを生かす (薄付け仕上げ)	ウールローラー (W-2 (中毛) ローラー)	0.5~0.6	2	5~8
	マスチックローラー細目 (SPローラー)	0.5~0.8	1	5~8
	刷 毛	0.5~0.8	1~2	5~8
	エアレススプレーガン	0.5~1.0	1	5~8
	リ シ ン ガ ン	0.5~1.0	1	5~8
既存塗膜のパターンを消し、 ローラー模様を付ける (厚付け仕上げ)	マスチックローラー (M-9ローラー)	0.8~1.5	1~2	2~5

- 注 1) 既存パターンや下地の状態により、所要量が異なる場合があります。  
注 2) 水性ソフトサーフSGは改修用の塗材です。新規 ALC パネルの下地調整材として使用する場合、所要量は0.5kg/m<sup>2</sup>以上とし、必ずしごき塗りを行ってください。なお、マスチックローラー(M-9ローラー)による塗装はできません。

## 施工上の注意点

- 旧塗膜の状態によりシーラーが必要な場合がありますので、予めご相談ください。  
(例:脆弱な場合には★ミラクシーラーESまたは水性ミラクシーラーエコ施工)
- 旧塗膜は活膜であることが条件です。
- 水性ソフトサーフSGは改修用の塗材です。新規下地やコンクリート下地の露出面、無塗装面にご使用になる場合は適切な下塗材が必要です。詳しくは最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 軽重モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業形サイディング及び発泡ウレタンなどを用いた高断熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱されたり、水の影響や下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで、パネルの変形や塗膜のふくれ、はがれなどを生じることがあります。ご採用に当たっては、最寄りの各営業所へご相談ください。
- 新規ALCパネルの下地調整材として使用される場合は下塗材は不要ですが、(マスチックローラー(M-9ローラー)による塗装はできません。)その際は、所要量を0.5kg/m<sup>2</sup>以上とし、塗装後は左官刷毛で必ずしごき塗りを行い、目止めしてください。なお、下地の状態により所要量が異なる場合があります。特に凹凸や吸い込みの激しい場合、所要量を多めに設定してください。
- マスチックローラー細目はメーカーにより目の大きさが異なる場合があります。SPローラー以外のマスチックローラー細目をご使用する際はご注意ください。詳しくは最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 塗膜の膨れ、剥離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により、塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異常を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、はく離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。なお、シミが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により、増減します。
- 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通し)や膜厚によって変わります。
- 低温または高温時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。

## 用 途

一般内外壁の改装

## 適用下地

旧塗膜:エマルジョンペイント、リシン、スタッコ、吹付タイル(硬質・弾性)、単層弾性塗材、スキン(陶石リシン)<sup>\*1</sup>などの活膜下地(付着強度が0.7N/mm<sup>2</sup>以上)

- \*1 スキン(陶石リシン)の改修については、最寄りの各営業所へお問い合わせください。  
\*2 旧塗膜が高弾性の場合は適用できないことがあります。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

## 荷 姿

水性ソフトサーフSG…16kg石油缶(標準塗坪・10~53m<sup>2</sup>/缶)

\*表記の標準塗坪は一般的なものであり、既存パターンや下地の状態、環境による所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

## 危険情報と安全対策

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。

- 引火性の液体のため、火気厳禁です。
- 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
- 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないよう十分に注意してください。

\*屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。